

水深遺跡(みずぶか)

徳田町北部地域を東西に走る磯山バイパス建設工事に伴って国道23号中勢バイパスと交差する手前北側の緩やかな丘陵地帯で、発掘調査されている遺跡です。

- ・遺跡調査面積:約1100㎡
- ・調査期間:R4/8/～
- ・現地説明会R4/11/6 三重県埋蔵文化財センター



- ・徳田墓地より撮影した遺跡全体の写真(発掘調査作業中)
- ・上部は磯山バイパス
(右方向は中勢バイパスへ)



- ・奈良時代の掘立柱建物跡/柵
- ・鎌倉時代～室町時代にかけての火葬墓群跡
(約40基の火葬墓発見される)



- ・古墳の周溝
古墳時代(6世紀頃)の周溝



- ・火葬墓群
- ・銭貨出土場
(火葬墓傍で発見された)



- ・多量の銭貨(銅銭)
(“三途の川”の渡し賃?)



- ・火葬墓内の人骨/ 炭、等
(かなり鮮明に残っている)
墓規模:縦×横×深さ
50~70×30~50×3~30cm
- ・副葬品はなかったようです



・周溝から発見された遺物等の
土師器類(6世紀、古墳時代の
ものと思われる)

◆水深遺跡の位置環境

- ① 田んぼ面より少し小高い丘に面している。
- ② 直ぐ近くを2級河川中ノ川と堀切川(通称、上流域は北川とも呼ばれている)が流れている。
 - ・中ノ川:長さ 21km、源流を芸濃町の錫杖ヶ岳(標高700m)として伊勢湾(津市)に注いでいる。
 - ・堀切川:長さ 4.7km、源流を御園地域の大谷池近辺として伊勢湾(鈴鹿市)に注いでいる。
- ③ 近辺の段丘上には中勢バイパスが南北に走っている
又遺跡南側には磯山バイパスが東西に建設されつつある(現在工事中)。
この一連の段丘付近(海拔15m前後)には畑遺跡、高井遺跡、戸関遺跡が既に発見されている。
(徳田の歴史20、24、25、26に関連情報あり)
- ④ 付近一帯は広大な田園地帯であり両河川の水を農業用水として利用している。

